

# 民音音楽博物館 館報

2025年版 事業概要



## あいさつ

民音音楽博物館は、世界でも数少ない音楽博物館の一つで、2003年に登録博物館として認可されました。前身となる民音音楽資料館(当時)が1974年に設立されて以来、これまでに古典ピアノをはじめ30万点を超える音楽資料を収集。2022年、展示室を拡張しリニューアルオープンしました。今後さらに教育、学術、文化の発展に寄与する機関として、心安らぐひと時をお過ごしいただける博物館であるよう努力を続けてまいります。

民音音楽博物館

## 2025年事業報告

### 1 音楽ライブラリーにおける音楽資料の収集・保存

2025年は、音楽図書資料(和書・洋書)179冊、逐次刊行物45タイトル、楽譜資料(管弦楽・吹奏楽用印刷譜、作曲家個人全集等)492点、の資料収集を行い、民音音楽博物館のライブラリー事業として広く閲覧等の利用に供しました。

2025年の開館日数は138日、利用者は1,695人でした。



#### 2025年12月末日所蔵資料数

図 書	41,967冊
楽 譜	52,251点
録音・映像資料	117,592点
1974年開館以来の利用者	447,307人
録音・映像資料(内訳)	117,592枚
LPLレコード	80,839枚
SPLレコード	2,200枚
CD	32,041枚
LD	1,390枚
DVD	825枚
VHS	297本



## 2 古典ピアノ、オルゴール、民族楽器等の収集、及び音楽博物館での常設展示

民音音楽博物館では、これまでに収集・保存した古典ピアノ、オルゴール、民族楽器等をテーマ別に選定し、常設展示して貴重な音楽文化遺産に触れる機会を提供しました。

2025年の開館日数は288日、48,626人の来館者が鑑賞しました。

(1997年9月の開館以来、2,341,714人)

### 所蔵品点数

1.古典ピアノ	13台
2.自動演奏ピアノ (同演奏用ロール1,133巻)	5台
3.オーケストリオン (同演奏用ロール114巻)	1台
4.オルゴール(等) (同演奏用ディスク200枚) (同演奏用ブック15冊)	21台
5.蓄音機	22台
6.民族楽器	808点
7.自筆楽譜、自筆書簡、錦絵等	約100点
8.音楽史料関係	約1,500点
9.公演舞台写真類	約100,000点



### 3 音楽博物館・西日本館

民音音楽博物館 西日本館には2つの展示室があり、毎週日曜日に開館しています。展示室1では常設展「平和構築の音楽」展を開催。展示室2では、ディスク型オルゴールや17世紀のチェンバロをはじめ、フォルテピアノ、蓄音機、約120点の民族楽器などを展示しています。2025年の開館日数は50日、2,538人が鑑賞しました。

(2012年04月28日開設以来、122,677人)

### 4 音楽資料に関する特別展(企画展)の開催

企画展示室など、館内にて以下の「特別展(企画展)」を開催しました。

#### 〈1〉「平和構築の音楽展」Ⅱ(民音研究所)

開催期間：2024年10月11日～2025年06月29日

会場：民音音楽博物館M3展示室

来館者数：36,055名



#### 〈2〉「こどものための世界民族楽器展」

開催期間：2025年07月11日～2025年05月28日

会場：民音音楽博物館M3展示室

来館者数：42,776名



#### 〈3〉「日本のオーケストラのあゆみ～響き合う音楽の軌跡～」展

開催期間：2025年10月10日～2026年6月28日

会場：民音音楽博物館M3展示室

来館者数：13,160名(2025年12月末日時点)



民音音楽博物館では、日本のプロオーケストラ誕生から100年を記念し、企画展「日本のオーケストラのあゆみ～響き合う音楽の軌跡～」を開催しています。近代国家の成立とともに欧米から伝わった西洋音楽は、声楽や器楽の独奏にとどまらず、オーケストラとして発展し、豊かな音楽文化を築いてきました。本展では、その歩みを支えてきた音楽家や関係者、そして音楽を愛する人々の営みに光を当て、当館所蔵の楽譜や書籍、演奏会プログラムなどの資料を通して紹介します。日本各地で育まれてきたオーケストラ文化の歴史と広がりをも、あらためて見つめる機会となれば幸いです。



## 5 文化講演会

### 〈1〉 阪神・淡路大震災30年

#### 「ハービー・ハンコック・ヒストリー」トーク&ライブ(民音研究所)

日 程：10月5日(日)13:00  
 会 場：関西国際文化センター・6Fコスモホール  
 講 師：高木信哉(ジャズ評論家)  
 演 奏：クリヤ・マコト(ジャズピアニスト)



## 〈2〉音楽がボクらの学校だ。

～輝きを取り戻した不登校児たち(民音研究所)

日	程:10月 7日(火)18:30	タイムスホール(那覇市)
	10月15日(水)14:00	山梨県立図書館 1F イベントスペース
	10月16日(木)14:00	アクトシティ浜松 コンGRESSセンター41会議室
	11月 8日(土)14:00	岡崎市総合学習センター 多目的ホール
	11月 9日(日)11:00/15:00	豊橋市民センター 多目的ホール
講	師:毛利直之(C&S音楽学院・創設者)	

## 〈3〉地球のステージ 特別編(民音研究所)

日	程:10月 7日(火)15:30/19:00	名古屋文理大学文化フォーラム (稲沢市民会館)小ホール
	10月 8日(水)13:30	東海市芸術劇場 多目的ホール
講	師:桑山紀彦氏(医師/NPO法人地球のステージ代表理事)	

## 6 教育支援事業の推進

博物館法第3条に基づき国内外の学校、博物館、図書館、研究所及び他の諸施設との芸術学術的協力活動を展開し、その活動の援助をするため下記の事業を行いました。

### 〈1〉関係機関との連携、協力活動

音楽図書館協議会、日本図書館協会、専門図書館協議会、日本博物館協会、国際博物館会議、国際音楽資料情報協会、国際図書館協会連盟、学術情報センター、東京都博物館協議会等との相互協力活動を行いました。

### 〈2〉博物館実習の支援

実施期間:7月28日～8月2日

参加大学:青山学院大学、日本女子大学、東京農業大学、八洲学園大学、成城大学

実習生受入:5大学各1名ずつ

### 〈3〉 学校等の総合学習及び修学旅行見学研修等支援活動

- ・ 小学校1校30名  
香港の小学生一行
- ・ 中学校24校217名  
足立区立第十二中学校、国立市立国立第二中学校、  
目黒区立東山中学校、世田谷区立緑丘中学校、台東区立浅草中学校、  
上尾市立上平中学校、大田区立馬込中学校、足立区立谷中中学校、  
新潟市立坂井輪中学校、奈良市立一条高校附属中学校、  
福島県国見町立県北中学校、秋田県東成瀬村立東成瀬中学校、  
杉並区立宮前中学校、香港・宋璧山中学校、宮城県仙台市立鶴谷中学校、  
宮城県多賀城市立多賀城中学校、秋田県能代市立能代第一中学校、  
宮城県加美町立鳴峰中学校、宮城県多賀城市立第二中学校、  
愛知県大府市立大府北中学校、武蔵村山市立第一中学校、  
府中第八中学校、千葉県市川市立塩浜学園〈中学校〉、  
韓国・国立国楽中学校
- ・ 高等学校17校132名  
法政大国際高等学校、滋賀県立命館守山高等学校、  
沖縄尚学高等学校、都立日比谷高等学校、東洋英和女学院高等部、  
富山県立高岡高等学校、YUMESchool松陰高等学校、  
神奈川県立多摩高等学校、埼玉県立大宮高等学校、須磨学園高等学校、  
都立田園調布高等学校、浜松学芸高等学校、桐朋女子高等学校音楽科、  
さいたま市立浦和高等学校、宮崎県立くろしお支援学校高等部、  
長崎県立諫早高等学校、沖縄県立朱里高等学校
- ・ その他2校108名  
BUNBU学院〈アフタースクール〉、ローラスインターナショナルスクール、  
ローラスインターナショナルスクール初等部

## 7 民音音楽博物館付属 民音研究所の活動

民音研究所は、音楽が持つ平和構築への可能性に着目し、その理論的・実践的応用を探究することを目的として、2014年10月18日に設立されました。

本研究所は、「Music in Peacebuilding(平和構築の音楽)」を中核概念とし、平和学、音楽学、教育学、心理学、社会学など多分野にわたる学際的研究を推進しています。世界各地の研究者、教育者、芸術家、平和活動家と連携し、理論と実践を架橋する知的基盤の構築に取り組んでいます。また、対話と協働を重視し、国際的な研究ネットワークの形成やシンポジウムの開催、研究成果の発信を通じて、音楽が人間の尊厳を支え、分断を乗り越え、持続可能な平和の実現に寄与する方途を探究しています。

### 〈1〉「平和構築の音楽」における活動

#### ① 協力研究員

研究員に加え、世界各地で実践と研究を重ねる9名の協力研究員を迎えた。音楽教育、民族音楽学、コミュニティ音楽、音楽療法、紛争転換、社会的包摂など多様な専門分野を有し、それぞれの現場を基盤に、音楽を通じた平和構築の研究と実践を推進。

#### ② 研究会議

##### 1. 研究員・協力研究員会議

米州時間帯と欧州・アフリカ時間帯に分け、月2回開催。研究進捗共有と戦略協議を行いました。

##### 2. ダイアログ・ネットワーク会議

米州時間帯と欧州・アフリカ時間帯に分け、月2回開催。研究者・学生も含めた開かれた対話の場として、テーマ別討議を行い、国際連携の拡充を図っています。

##### 3. 個別ミーティング

研究相談、企画立案、原稿確認等に応じて随時実施。

#### ③ MOMRI-Hubの機能強化

民音研究所ウェブサイト上に、「平和構築の音楽」に関わる研究者・学生等を結ぶ実践的デジタル・コミュニティスペース「MOMRI-Hub」を設置し、その機能強化に取り組みました。これまでに、世界30カ国にわたる500件以上の出版物、140以上の組織・団体の連絡先、40件以上の参考資料、100件以上の発表および最新ニュースを調査・整理・分類し、情報発信とネットワーク形成を推進してきました。

MOMRI-Hub  
ウェブサイト



## 2026年の事業計画

### 1 音楽資料の収集・保存とライブラリー事業の展開

音楽図書資料(国内で発行された音楽図書、洋書、逐次刊行物、歴史的音楽文献資料)、楽譜資料(管弦楽・吹奏楽用印刷譜、作曲家個人全集、ファクシミリ版ほか貴重自筆譜等)、録音映像資料、及び展示対象楽器などの資料収集・保存に努める。また、音楽博物館のライブラリー事業としての収集資料を研究者及び広く一般の音楽愛好家に公開し、閲覧・貸出等を行い、国民の教育、学術及び文化の発展に寄与する。

### 2 古典ピアノ、オルゴール、民族楽器等の常設展の開催

民音音楽博物館が収集・保存した楽器等をテーマ別に常設展示し、貴重な音楽文化遺産に触れる機会を提供する。特に古典ピアノ室では、16世紀に製作されたチェンバロから近代のピアノに至る実演を通し、音楽史を学べるよう充実を図る。

### 3 民音音楽博物館 西日本館

西日本館では、楽器展示室と「平和構築の音楽」展を常設します。

楽器展示室は、チェンバロや各国の楽器などを展示し、「平和構築の音楽」展は、音楽の様々な出来事をたどりながら、音楽の可能性を探るパネル展となります。

### 4 企画展示の開催

企画展示室など、館内にて以下の「特別展(企画展)」を開催します。

#### 〈1〉「日本のオーケストラのあゆみ～響き合う音楽の軌跡～」展

開催期間：2025年10月10日～2026年06月28日

会場：民音音楽博物館 M3展示室

#### 〈2〉「こどものための世界民族楽器展」

開催期間：2026年7月10日～9月27日

会場：民音音楽博物館 M3展示室

## 5 教育支援事業の推進

博物館法第3条に基づき下記の事業を行う

### 〈1〉内外の学校、博物館、研究所及び他の諸施設との 芸術・学術的協力活動を展開し、その活動の援助をする。

- ・音楽図書館協議会、日本図書館協会、専門図書館協議会、日本博物館協会、東京都博物館協議会、国際博物館会議、国際音楽資料情報協会、国際図書館協会連盟、学術情報センター等との相互協力活動
- ・学芸員課程を持つ大学の博物館実習の受け入れ
- ・小・中学校等の総合学習及び修学旅行見学研修等の受け入れ

### 〈2〉内・地域における住民、学童への芸術・文化的教育支援活動

### 〈3〉その他必要とされる教育支援活動

## 6 民音研究所の活動

### 〈1〉国際会議

#### 国際シンポジウム 第2回「平和構築の音楽」ワールドサミット

実施日：2026年6月9日(火)～6月12日(金)

場所：北アイルランド・英クイーンズ大学ベルファスト

主催：民音研究所

共催：英クイーンズ大学ベルファスト

グローバル平和・安全保障・公正研究所(略称：GPSJ)

## 民音音楽博物館館報 第14号

発行日：2026年5月1日

編集：一般財団法人民主音楽協会 民音音楽博物館

〒160-8588 東京都新宿区信濃町8番地

Tel 03-5362-3555 Fax 03-5362-3556

Homepage <https://museum.min-on.or.jp/>

E-mail [m-lib@min-on.or.jp](mailto:m-lib@min-on.or.jp)

民音音楽博物館 西日本館

〒651-0083 神戸市中央区浜辺通6-3-16

関西国際文化センター(3F)

